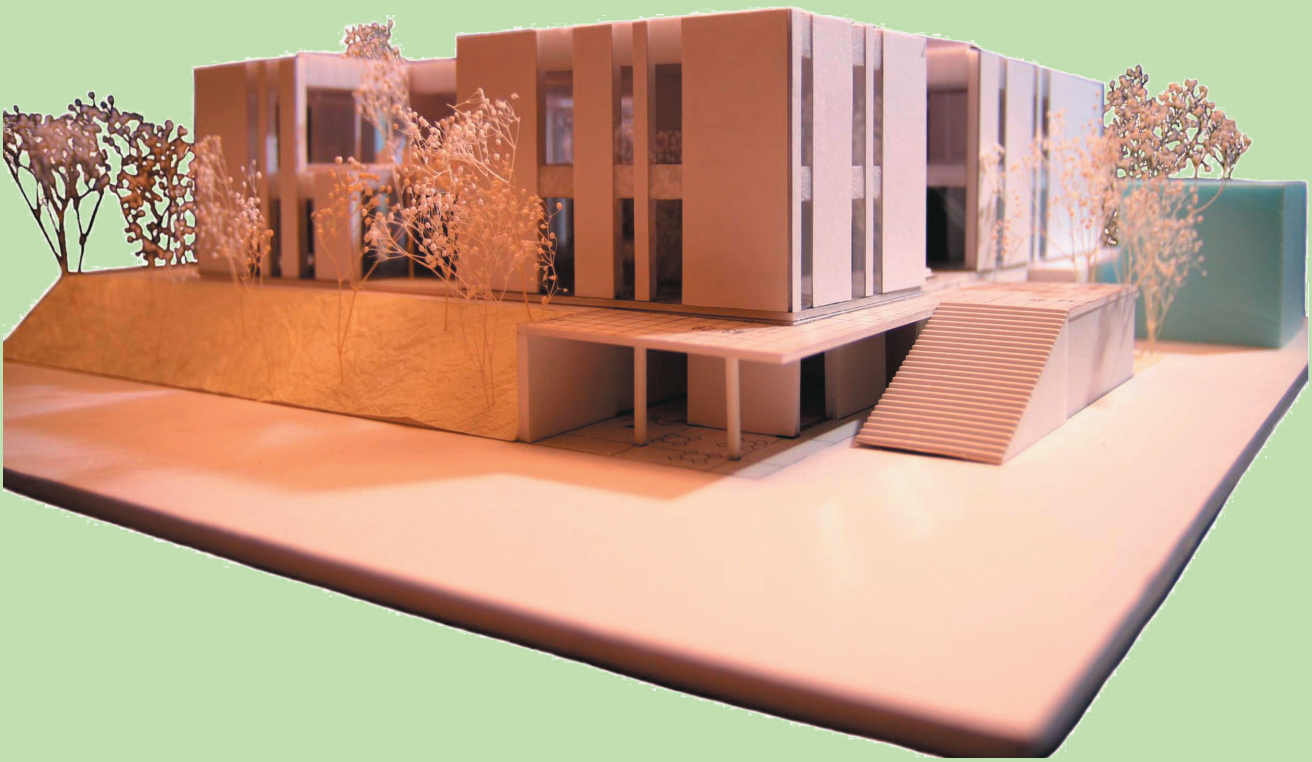
教職員・院生版生協だより

かけはし

No. 284
2009 年 5・6 月号
発行　名 大 生 協 理 事 会
編集　名大生協教職員委員会
☎ 学内線 7540, 学外線 781-1111

来春オープン予定の南部食堂
こんな２階建ての食堂がお目見えします



現南部食堂は 40 年の歳月に終わりを告げ
７月より取り壊しの予定です

名 大 生 協 の ホ ー ム ペ ー ジ（URL）　http://www.nucoop.jp/
教職員委員会への e-mail あて先　kyoshoku-c@coop.nagoya-u.ac.jp

もくじ

【主張】

総代会に積極的なご意見・ご提案を !!
09 年度生協総代の要請に受諾をお願いします ---------- 3

【企画】

名大祭：ミニ平和資料館・シンポジウム「高学歴ワーキングプア」
PeaceMovie「父と暮せば」---------- 4
夏の組合員交流企画 ---------- 5

【報告】

４月度理事会報告 ----------23
教職員委員会活動日誌----------19

【記事】

今、雇用の現場で起きていること（その 2）

「派遣切り」---------- 6

新フィールドノート（110）

「岡崎」---------- 8

魔言

「闇米買いだし」「『田島』御用」「楽は苦の種」----------10

東山キャンパスおよびその周辺のゾウムシ⑬

「サンゴジュのゾウムシ」----------12

ニュースに一喝！

「漢字」「きちんと前を向いて」「さびしいね」----------14

ある団塊世代の読書ノート⑧「知的生産の技術・発想法」-------16

ランニングノート（7）

「国体選考・強化普及競技～連戦・トップを狙え！～」----------20

かけはしの輪 ----------18

アンケート・クイズ解答用紙 ----------22

ＣＯ−ＯＰ　ＱＵＩＺ＜ Logic ＞ ---------- 裏表紙

主張

総代会に積極的なご意見・ご提案を!!
09年度生協総代の要請に受諾をお願いします

名大生協では2月で2008年度の決算を終え、上級生たちが新入生を温かく迎える新学期活動を終えて、1年の総決算と言うべき総代会の準備に理事会、組織委員会が頑張っています。

5月以降予算が達成されず、什機器の相次ぐ更新などがあり、事業剰余の確保が難しい状況が続きましたが、年度末（2月）の利用増、そして何よりも組合員の皆さんのご利用のおかげを持ちまして、小幅ではありますが事業剰余を連続して黒字とすることができました。

利用高は51億8千万円、延べ利用者数は316万人と北部厚生会館のリニューアルと営業時間の延長のおかげで大幅に利用数が増加しました。厚く御礼申しあげます。

名大生協は創立50周年を機に策定した「ビジョン」と「アクションプラン」に基づき実践してきました。1昨年の夏、北部厚生会館1階の全面的な改装を行い、明るく広く清潔な大学生協版のコンビニエンスストア形式の「購買・旅行サービスセンター」として9月18日に、南部のパンだが屋は10月に、全学教育棟のカフェ「プランゾ」も昨年4月にリニューアルオープンしました。これらの建物の建設にあたっても名大生協はこれまでの組合員の利用による蓄えである施設開設準備金から大学に寄付しました。

今年度は40年経過した南部食堂の全面改築が始まります。閉店していた旧中央食堂（要改修）とともに生協に運営を任されました。組合員の皆様に喜ばれるお店にしていくよう努力していきますので、皆様のご意見やご要望をお寄せください。

総代会は生協の最高議決機関で、前年度の活動報告の振り返りと決算の承認（剰余金処分を含む）および今年度活動方針と予算、新役員を決定する重要な会議です。今年度の第81回通常総代会の日程は5月29日（金）の夕方5時から8時半に南部食堂ホールで行います。

わずか1日で、しかも夕刻の一時でこれらのことをすべて議論を尽くすということはなかなか時間的に難しい面があります。そこで、生協では事前にカラー版の第81回通常総代会総代会解説書&総代会議案書第一分冊を作成し、建物毎に議案書説明会を開催したり、各店舗や生協殻のご案内を利用して組合員の皆さんにお届けし、ご意見を受け付けています。利用する組合員が主人公の生協では「組合員の声」としていつでも受け付けていますが、参加する機会のなかった組合員のためにはメールでのご意見や感想も随時歓迎しています。

今回の総代会の運営につきましては、総代会プロジェクト（各組織委員会代表と専従職員で構成）で鋭意検討を加え、次の2つのテーマについて話し合うのと、3つの体験コーナーを用意します。

1。新南部食堂について考える

2。70周年記念名大グッズについて考える

1。クラス写真コンテスト投票コーナー

2。防災コーナー

3。各種活動展示コーナー

また、前半の意見交流コーナーと後半の体験コーナーで、時間は20分ずつありますので、時間を考えて順番にまわってもらい、色々な活動や状況がより把握でき、理解し合えるようにします。

前記2つのテーマにぜひご意見をお寄せください。いいお店にするため、食生活の改善や防災、環境問題をみんなで考えて実践していきましょう。

現在、第81回通常総代会総代会解説書&総代会議案書第一分冊を送付し、併せて09年度総代の要請をしています。30人程度の教職員総代数の確定が必要とします。もし、組合員の皆さんのところに生協総代の要請依頼書が届きましたらご一読いただきまして、ぜひともご意見・ご提案を出していただくとともに総代になっていただき、ご都合が合うようでしたら総代会への出席も重ねてお願いいたします。

ミニ平和資料館

2009年6月6日(土)、7日(日)

名古屋大学平和憲章は、今年で制定から22周年が過ぎました。当時、名古屋大学の構成員の過半数による署名で制定された「名古屋大学平和憲章」に基づき、名古屋大学は平和のための学術研究を行ってきました。近年、大学内でも平和に関する活動に取り組む団体が増えてきています。日本の戦争体験や現在の平和維持への取り組み、そして世界での平和活動について、語り合い、一緒に考えてみませんか？

会場：全学教育棟４階 C40 教室

＜内容＞
- ユニセフの活動とフェアトレードに関するの展示＆販売(ユニセフ班)
- 地域で平和運動を行っている方からのメッセージの展示(千種区９条の会)
- 南京事件写真展(名大九条の会・生協留学生委員会)
- 辺野古ヘリポート基地建設反対意思表明リボン署名(平和憲章委員会)
- 核兵器廃絶を求める署名活動など

＜特別企画＞
6月6日(土)10:00～
戦争を語る会(千種区９条の会)
　昨年好評だった戦争体験を聞く会

6月7日(日)
平和を歌う会
　11:00～職員合唱団演奏
　14:00～みんなで歌おう平和の歌

6月6日(土)14:00～
シンポジウム「高学歴ワーキングプア」
水月昭道氏(立命館大学研究員)来学
会場：全学教育棟３階 C35 教室

PeaceMovie「父と暮せば」

井上ひさし原作、宮沢りえ、原田芳雄主演、黒木和雄監督作品。

昭和20年8月6日広島に原爆が落とされ、ひとり生き残ったことを負い目に、自分だけが幸せになってはだめと恋する気持ちをも抑え込んで生きる娘に、原爆で亡くなった父が幽霊となって応援するが・・。

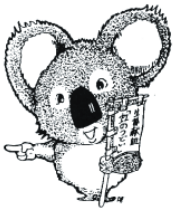
父との４日間の交流をつづったヒューマンドラマ。宮沢はこの作品でキネマ旬報最優秀主演女優賞を受賞した。

日時：6月18日(木)
18時30分～
会場：工学部２号館
北棟３階３３２号室
職員組合会議室
軽食代：300円
主催：平和憲章委員会
次回の作品は
「夕凪の街桜の国」
8月20日の予定です。

夏の組合員交流企画

パート１ 愛の助け合い献血活動

日時 6月23（火）・24（水）
11:00～13:30
& 14:30～16:30
場所：VBL 前駐車場（北部生協前）



献血は誰にでも出来る助け合いの行動です。
あなたもぜひ献血にご協力願います。

パート２ ビデオ上映会（入場無料）

作品 おくりびと

日時 6月24日（水）17:30～
場所　カフェフロンテ

東京で職を失った大悟は妻とふるさとの山形に戻る。遺体を清め棺に納める納棺師の職に就き、先輩の指導を受け、さまざまな死と向き合う中で成長してゆく姿と周りの人間模様を描いたヒューマンドラマです。滝田洋二郎監督、本木雅弘主演、小山薫堂映画初脚本の作品で、米アカデミー賞外国語映画賞を受賞し話題となり、日本アカデミー賞においても全 13 部門を受賞した。

パート３ ビアガーデン

日時：6月25日（木）17：30～20：00

場所：ゆ～どん北部厚生会館２階

前売り５００円チケットを買うとお得（約 29% Off）

前売りチケットは、生ビール中ジョッキー１杯とおつまみ２品付きです。
前売りチケットを購入希望の方は kyoshoku-c@coop.nagoya-u.ac.jp にて受け付けています。

お品書き：生ビール 400 円、おつまみ (1 品) 150 円

すべての参加申込は：http://kyoshoku.coop.nagoya-u.ac.jp/application.html

今、雇用の現場で起きていること（その2）

派遣切り

法学研究科　和田肇

一　派遣村

「（年越し）派遣村」は、昨年暮れから東京の日比谷公園で開かれて有名となったから、誰でも言葉は知っているだろう。今年の三月から四月にかけては、埼玉、大阪、愛知（岡崎市）、兵庫など、日本全国で「派遣村」が開かれた。ちょうど「派遣切り」がピークに達するからである。しかも、それが全国規模で生じている。

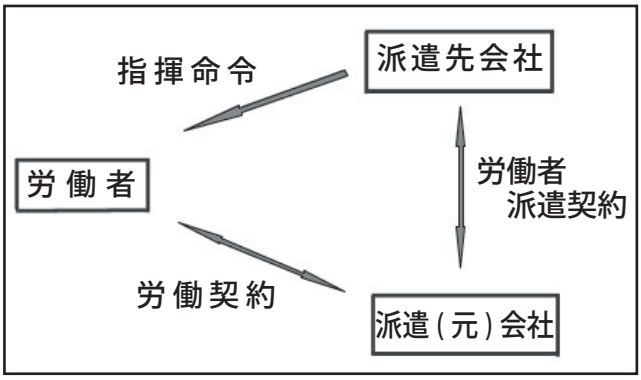
派遣村には、派遣切りにあった人だけでなく、以前からホームレスであった人や、有期雇用が終了した（「雇止め」という）人たちも集っている。派遣村で象徴的なのは、派遣切りや雇止めが住んでいた住居を失うことにもつながる、という現象である。派遣会社がアパートを借り上げ、派遣社員を住まわせていたが、派遣切りとともに労働者を追い出すことになったからである。つまり、派遣切りは、単に雇用の場を失うというだけでなく、生活の場も奪ってしまっている。

いずれにしても、こうして派遣切りにあった人たちは、厚生労働省の一九万人という推計をはるかに超えて、四〇万人にも及んでいるといわれている（今後七〇万人を超えるという推計もある）。これだけで失業率を一ポイント近く引き上げる。

二　日雇い派遣

労働者派遣でもう一つ問題となったのが、日雇い派遣の存在である。それは、派遣会社に登録し、派遣されている間だけ派遣会社と労働契約を結ぶ形態（「登録型派遣」という）を使ったものである。派遣会社には登録をしているだけだから、いつ仕事が来るか分からない。前日に電話が入り、翌日の仕事場所が、あるいは集合場所が指定される（「呼び出し労働」ともいう）。若い人にはなじみがないかも知れないが、昔でいう「日雇い労働者」である。それが製造業などで盛んに行われている。

毎日仕事が入る保障がないので、収入面でも、そして日々の生活の設計という面でも、不安定きわまりない。そのために多くの者が、アパートも借りられずにネットカフェに寝泊まりしている。非典型雇用・不安定雇用あるいはワーキングプアの究極の形である。



三　労働者派遣の仕組み

ここで労働者派遣の仕組みを簡単に紹介しておこう。図を見ていただきたい。

派遣元会社と派遣先会社の間には、労働者を派遣するための契約（「労働者派遣契約」という）が結ばれる。派遣元会社と派遣労働者の間にあるのが、労働契約である。派遣先と派遣労働者の間には、派遣先の指揮の下で働くという関係があるだけで、労働契約は存在しない。つまり、派遣労働者は派遣元会社の従業員であり、仕事先が派遣先会社にあるだけ、という関係が成立している。

労働者派遣契約には期間の定めがあり、それに応じて派遣会

社との間の労働契約にも期間が設けられる。日雇い派遣の場合には、契約は一日単位で結ばれている。

派遣労働者には、先に紹介した登録型以外に、派遣会社に通常の従業員と同じように雇われ、そこから派遣先会社に派遣される「常用型」がある。これは正規従業員であるので、比較的問題が少ない雇用形態である。

いずれにしても派遣先にしてみれば、必要なときにだけ必要な人材を確保できる。長年かけて人材を養成する必要もない。しかし逆に、派遣労働者は仕事を淡々とこなすだけであるから、愛社精神は芽生えない。

四 派遣切りとは

派遣切りは、登録型派遣に見られるもので、二通りのケースがある。

一つは、労働者派遣契約の期間が満了し、それを前提とした労働契約も期間が満了して、更新がされない（「雇止め」という）場合である。法律的には、期間が満了すれば契約は自動的に終了するから、この雇止めは違法ではない。しかし、不安定雇用の極地であることには変わりが無く、問題はこうした雇用の形態が法律上安易に認められている点にある。

二つめは、労働者派遣契約の期間の途中で派遣先会社から契約が打ち切られ、そして労働契約も期間途中に打ち切られる、つまり解雇される場合である。労働契約法一七条一項という規定によれば、こうした解雇は「やむをえない事由」がないと許されない。ここでいうやむをえない事由とは、重大な事由を指しており、少しくらい経営環境が悪化したというだけでは、それに当たらない。派遣先から労働者派遣契約を解約されたというだけでは、解雇の正当事由とはならないが、これが安易に行われている。

労働者派遣は、景気の変動に敏感に反応する雇用の形態であり、昨今の不況がもろにこの形態で働く人たちを直撃している。その結果、大量の失業となり、場合によっては住居も失うことになる。これに加えて問題なのは、この人たちは、法律の要件（契約期間、勤務時間数、収入等）を満たさないために、会社が経費を削減しようとするために、あるいは労働者自身が手取額の増額を望むためにといった様々な理由で、失業保険や健康保険などに加入していないという問題である。つまり、セーフティネットからも排除されている。

五 派遣切りの背景

派遣切りが問題となる理由には、次のことがある。

第一は、法律がそもそも登録型派遣を認めていることである。とりわけ景気が大きく雇用に反映する製造業でこれを認めていることが、大きく影響している。

第二は、労働者派遣の対象を、熟練が必要のない、職場の安全性にも問題がある業種に広げすぎてしまったことである。一九八五年に労働者派遣法が制定されたときは、対象は一三の専門的な業務に限定されていた。その後これが二六業務に拡大され、一九九九年には原則としてすべての業務が対象とされた。さらに二〇〇三年には、それまで禁止されていた製造業での派遣も可能になった。いわゆる規制緩和政策である。

第三は、違法な派遣を監督したり、派遣先会社に直接雇用することを義務付けるような法律の規定が欠けていることである。ここでは労働基準法のような労働者を保護するための仕組みが弱い。こうした点につけ込んで悪質な派遣業者も無数に登場している。

派遣切りはこうした問題の「複合汚染」（かつて有吉佐和子の小説で有名になった言葉）である。そして、その解決には、法律の抜本的な修正が必要となっている。これについては、機会を改めて後日また触れたい。

次回は、派遣切りを含めた「雇用の崩壊」といわれる現象について話をしたい。

新フィールド・ノート　―その110―

岡崎

広木詔三

今日は四月八日。愛知大学の豊橋キャンパスはソメイヨシノが満開を過ぎ、ちらほらと花びらが散り始めている。

夕べは豊橋に宿泊して、朝の一限目に出た。新入生の入門ゼミのクラス分けを行うのである。

二限目は、私の担当する十五名で、さっそく自己紹介を行う。

ゼミは早めに切り上げて、生協の食堂へと向かう。生協は豊橋キャンパスの副門の右手に在り、副門の左手には、満開の桜並木が覆う。

生協の一階は書籍と文房具が片側に並び、その反対側にはフードショップがある。ら旋階段を上ると、二階はかなり広い食堂となっている。全面ガラス張りの窓から、桜の樹冠が見渡せる。

食堂から出ると、向かいには桜が一面に咲いている。豊橋鉄道の電車が停まり、電車から降りた学生たちが、副門から入ってくる。哲学の森に沿った桜並木を右手にカーブしながら、学生たちは、図書館と哲学の森の木立の間を通って、講義棟や本部事務棟へと向かう。私は桜並木から離れて、真っすぐ五号館へと向かう。副門から五号館の私の部屋までおよそ五分の距離である。

三限目は演習だ。学生は一人しかいない。あと二人ほど登録しているはずだが出席しない。坂野君という学生は、自分一人だけなのを知ってたいへん驚いている。まあ、おどろくことはないよ。私は平然と言う。演習室がとても冷えていたので、外へ出て、テラスでお茶を飲みながら雑談をした。彼についてのおおよその情報を得たところで演習を早めに切り上げる。

さて、あさっての金曜日の授業の準備に取りかかろう。今年は何百人くるのだろう。去年は三限がおよそ三百五十人で四限が三百人ほどだった。

授業の準備も早めに切り上げ、研究室を出る。五号館の私の部屋から豊橋鉄道の電車に乗り込むまでに約六分である。しまった、あと五分しかない。少し小走りになる。電車が到着するとチンチンチンと音を鳴らすのですぐ分かる。副門まで着けばしめたものだ。電車に乗り込む前に車掌が笛を鳴らす。飛び込むと同時にドアが閉まる。走ると心臓に応える。

六分ほどで新豊橋駅に到着する。豊橋で名鉄に乗り換え、途中、岡崎駅で下車する。改札を出て、地下道をくぐって、向かいの道をまっすぐ行くと、乙川に出る。

明代橋の上を行くと、乙川の向こう岸の桜並木がちょうど満開である。土手の斜面がグリーンに栄え、菜の花も咲いている。丸い月も見える。ふと反対側を見やると、太陽が沈んで行く。その右手には岡崎城の一部が見える。

あかあかと陽は落ちにけり 岡崎城

季語が入っていないのに気づく。初心者なのでまあいいか。季語を入れてつくり直した。

菜の花や 陽は落ちにけり 岡崎城

今日は四月九日。教授会の日だ。私の給料は安く、教授会には出なくてもよいことになっている。しかし、できるだけ出るようにしている。今日は教授会が早く終わった。そこで、早めに研究室を出て電車に乗り、今日もまた岡崎に寄る。

明代橋に着く。ソメイヨシノはまだ散りはじめていない。橋からの川の眺めは美しい。満開の桜があかみを増している。黄色い菜の花と土手の緑色が鮮やかだ。乙川の上流は蛇行して岡崎の丘陵へと消えて行く。気がつくと月が無い。反対側では今日も陽が沈もうとしている。

明代橋を渡って、土手の桜を上からのぞき込む。陽の光を通して、桜の花びらが逆光に照り輝く。また橋に戻ると、陽が沈み、ぼんぼりに明かりが灯される。裸電球に照らされた桜の花

が鮮やかさを増す。暗くなると、ぼんぼりが水面に映りはじめる。

　すると、赤い月が丘陵の上に顔を出す。満月だ。やがて時間がたつにつれて月は黄色くなる。水面には金色の月が映っている。波で洗われ、上下に長細くモザイク状にきらきらしている。上空にのぼると月は白くなってしまった。

夜桜や　陽は落ちにけり　白い月

　今日は四月十日、金曜日。三限目も四限目も受講者は百五十人程度だ。詰めれば六百人も入る広い講義室なので、閑散としていてかえってやりにくい。

　授業を終えると、今日も岡崎へ、である。来週の準備に手間どり、ひと電車遅れたため、日没には間に合わず、陽の沈むのを見ることが出来なかった。月も出ていなかった。桜は散り始めていた。

　帰りがけに、居酒屋で一杯やりながら、かけはしの原稿を書く。来年の桜の季節が待ち遠しいことよ。だが、桜の花の花びらがもうすぐ散ってしまうように、我が命も消えてしまっているだろう。

暗闇に　花びらも散り　月も無し

　話は変わるが、最近、光田和伸（こうだかずのぶ）の『芭蕉めざめる』という本を手に入れた。芭蕉が隠密だったという謎解きの本である。松本清張をはじめとする隠密説は在野では知られていたが、学会からは無視されてきたという。

　光田氏自身も初めはこの説を信じていなかったが、芭蕉が宿の手配を自分で行った気配が無いことに気づき、いろいろと調べ始めたという。

　芭蕉の出生が伊賀上野で、その出生から謎が解き明かされていく。母の素性もいわく因縁つきだ。芭蕉は少年の頃に、藤堂義忠（とうどうよしただ）に仕えた。芭蕉はこの頃俳句を習った。義忠の死とともに藤堂家を離れ、江戸に立つ。

　芭蕉の勤め先と住み家も、また謎に満ちている、という。俳諧で身を立てようとしたが、将軍家の代替わりで、芭蕉は仕事をはずされ、その後、奥の細道へと向かうのである。このような悲運が芭蕉を育てたという。

　光田氏の芭蕉隠密説の解釈の要は、芭蕉が伊達藩の領地内では歌会を開いていない、という点である。伊達藩に着く前の白川や、伊達藩を立って山形の尾花沢で歌会を開いて長逗留をしているという。江戸幕府と伊達藩は緊張関係にあり、隠密と怪しまれたらたいへんである。実は、本来の隠密の仕事は弟子の曽良（そら）が行い、芭蕉は単なる随伴者だったという。芭蕉は俳諧氏として有名なので、関所を怪しまれず通れただろうというのである。

　曽良のしたためた日記は、役目を果たした記録であるという。そういえば、井上ひさしの『四千万歩の男』に出てくる伊能忠敬も几帳面に日記をつけていた。

　そういえば、話はさらに変わるが、去年の四月三日に、私は名古屋大学から愛知大学へと引っ越しをしたのだった。

　実験室の解体と薬品の処分にまる二年を費やした。ボルトを何百本とはずした。心房細動（しんぼうさいどう）という心臓がぶるぶる震える症状に毎日悩まされていた頃だから慎重に少しずつ解体していった。

　三月十日には、最終講義も無事終了した。有田先生をはじめ創発システム論講座の先生がたには、終了後のパーティを開いていただいた。かつての教養部から情報文化学部と移り、何となく居候（いそうろう）という感じの存在であったが、終わり良ければすべて良しという諺のように、最終講義とそのあとのパーティは、とても楽しく嬉しいものだった。

　来る日も来る日も、部屋の片付けをした。三月の末に、会計の加島さんが、四月から赴任予定の人と部屋を見に来た。山のように散らかっていた私の部屋を見て、たいへん驚いた様子だった。その日は、夜中まで掛けて、すべて廊下に出した。それから毎日廊下で整理を行った。本を書く上で必要最小限の文献だけを残して段ボールに詰めた。

　去年の四月三日に引っ越しをしてから。私の第二の人生が始まったのである。

言

闇米買いだし

昨年来問題になっている事故米・不良米の闇取引のことではない。第2次世界大戦敗戦後のことである。実にいろいろのことを聞いたが、そのことでもなく、私自身が、養母が闇米を買いに行くのについて行ったときのことだ。

私は、昭和27年に今居る寺に、養子としてもらわれてきた。5人兄弟を育てるのは当時とても大変なことだった。それで、次男の私が、今の寺の跡取りとして、養子になったのだ。養父母には子供がなかった。一時、別の子がいたことがあったが、その子の親にいろいろぐずられるようなことがあり、返してしまったらしい。そんなことは直接は聞いていないが、あるとき、母が寝言にその子の名前を呼んで叱っているのを聞いた。それもどうでもいいことだ。

昭和27年というと朝鮮戦争のさなかだった。それで日本の景気はどん底から這い上がって来つつある時代だったようだ。しかし、食糧事情は厳しかった。戦後直ぐのようなことはなかったが、米の配給は絶対的に不足していた。私はその時小学校6年生、食べ盛りだった。自分でも驚くほど食べたから、養父母の驚きは大変だったろうと、今になって申し訳ないような気がする。しかし、そんなことはおくびにも出さなかったのは、今思えば有り難いことだった。

今、何故こんな事を書くのかというと、その米を買いに行ったところは、名古屋駅西にあった。今も時々そこを通る。当時のままではないが、周囲がすっかり変わったのに、余り変わっていない。通る度にそれを仄かに思い出す。その時手に入れた米は確かたった1升だったと思う。その値段ははっきり記憶がないが、130円だったか、390円だったように思う。両方違うかも知れないが。自分で払ったわけではないので、そんな曖昧な記憶だ。

中学に入ってからは段々世の中よくはなってきたが、益々食欲は大変だったように思う。中学の時の水泳訓練が野間海岸で行われた。その時の夕食にどんぶりで6杯食べた記憶があり、父が後に中学の先生に「お前んところの坊はよう食うなぁ」といわれて笑っていたことがあった。どこか行くには必ず米持参だった。そんなことは、大学に入っても続いた。合宿の時必ず米持参だった。本当に遠い過去のことになったが、記憶にはかすかに残っている。

買い出しの思い出は、それ以前にもさかのぼる。まだも終戦直後、父は応召したまま未帰還だった。藤枝に住んでいた。母は、3人の子を養わなければならなかった。何も、手に職のない者にとってどんなに大変だったろうか。大家が百姓だった。そこからいろいろ分けてもらったようだが、さらに、その大家の奥さんの実家というところまで乳母車を引いて野菜や芋と行った食べ物を買いに行ったことがあった。乳母車の輪が一つ壊れていた。それを母が、木の樽の蓋を使って直してやっと動いたのを覚えている。その時とても怖い思いをした。大井川だったかを渡ったのだ(違う川だったかも知れない)。橋の下が見えて本当に怖かった。母は困ったことだろう。兄は7歳、私は5歳になっていたが、弟は3歳だった。余り、その時の兄弟のことは覚えていない。とにかくそういう食べ物の買い出しのことが鮮明に思い浮かぶのだ。こういう事を思うのは歳のせいだろうか。

(T)

『田島』御用

こう言っても、わたしが悪いことをして、捕まったわけではない。台湾人の留学生が土産にくれた茶飲み茶碗にそう書いてあるのだ。その真意は、「田島が用いる茶碗だ」ということを言いたいのだということは分かる。しかし、これでは、そういうことには成らない。それなら、「田島用」だけでいいのだ。「御」は

魔

敬意を表すためにわざわざ付けたのだろう。それがとんだ的外れだった。日本人になら分かるが、文字の国のひと中国人だからこそ間違うのだろう。

「ひや」に「お」を付けると意味が違ってしまう。それも、日本人ならたいていは分かるだろう。

「お」や「御」は敬意を添えるために付ける接頭語だ。たいていはそういうことが通用する。付けないよりも、付けた方が丁寧であったり、敬意が高かったりする。「おとうさん」とか「おかあさん」と、「とうさん」「かあさん」を比べてみれば分かる。

何に「お」がつき、何に「御」がつくか、おおざっぱに、和語には「お」、漢字語には「御」が付くと言えるけれども、そう単純ではない。個人的なさもあり、慣習的なものもある。

「お世話になりました」は自然であるが、「世話」が和語と言えるのかどうか。「御厄介になりました」漢語に「御」がついている。漢語でも「役人」「役所」などは「お役人」「お役所」だ。「焼香」などは「ご焼香」も「お焼香」も自然である。「お祝儀」も「ご祝儀」も聞く。かなり、習慣的なものだ。「お礼」とか「おん礼」は言っても、「ご礼」とは言わない。

こういう「お」や「御」という接頭語を付けてもいい言葉と、付けると変なのとがある。「おありがとうございます」などという、特殊な人たちだけが使う言葉になってしまう。

今、これを細かく調べて書いているわけではないが、とても奥深い使い方があることだけは確かである。

（T）

楽は苦の種

「人間万事塞翁が馬」という故事がある。世の中のことは、大抵は、この諺の元になっている故事と同じようである。長所と短所は裏腹であるし、いいと思ったことが仇になり、逆もある。徳をしたと思ったら、それが損の発端であったり、損をしたことが後の得の元になったりする。利口な子供は親を捨て、親から邪険にされた子が親の世話をするというようなことは、枚挙に暇がない。

昔から夢占いということがある。今、テレビなどでもまことしやかにこんな事が行われている。見た夢から、これからの吉凶を占うのである。夢判断、夢解きなどということが行われていたことが、物語や説話に見られる。同じ夢でも、それをどう解くかによって全くまるっきり運命が変わることがある。ということは、運命は決まっているのではなく、それをどう考えるかによって、道が決まってくるということだ。変な風に解かれ、その暗示に掛かって悪い方向に行ったり、その逆もあるのだ。

最初、書こうとした事とは違うが、事のついでに私の夢占いを一つ紹介する。ご馳走の夢を見たとしよう。皆さん、そのご馳走を食べてから目が覚める場合もあろうし、食べようと思ったら目が覚めてしまって残念に思う事もあるでしょう。そのどちらがいい夢か。これは、その時の健康状態を反映するように思う。食べた夢を見て醒めた後何となくお腹がふくれて具合が悪いような気がすることはありませんか。食べ損なったときには気持ちよくお腹が減っている状態だ。この伝で、何かを無くしたり、失敗した夢は、現実にはそうではなくて、それから気をつけるということでいい夢だ。逆に何か拾ったり、いい目にあったりは、夢の中だけのことで、誠に儚い。そう、私は思っている。

本題は、こういう事。

或る、かなり高齢のご夫婦が―と言っても、後期高齢者ではない― 七福神参りをした話だ。自分たちの足で歩いて回るのは勿論、バスや電車で回るのは中々大変だ。丁度バスツアーがあった。それなら、一日で回れる。それに参加してのことだ。ただ、バスは決まった時間で動く。それぞれの所は大抵は山の上とか、中腹にあって、バスで近くまでは行けても、後はどうしても徒歩だ。一時間とか、30分の時間的猶予ではその方がたにとってはとても大変だった。帰ってからの土産話は、ああ疲れた、大変だった、もう、こんなバスツアーはこりごりだ、ということ。楽をしようと思って思わぬ苦労、楽は苦の種。

苦が楽の種になればいいのだが。

（T）

東山キャンパスおよびその周辺のゾウムシ⑬

サンゴジュのゾウムシ

理学研究科　井上晶次

サンゴジュは常緑の広葉樹で葉に光沢があり美しく生垣によく利用されています。図鑑では比較的標高の低い場所に自生しているそうです。東山キャンパスにサンゴジュは何箇所かにありますが、並んで生えておりいずれもどこかから持ち込んで植栽されたと思われます。サンゴジュの名前の由来は夏に赤い実を付け、この実が珊瑚の玉のように見えることから珊瑚樹という名前が付いたそうです。サンゴジュにはハムシ科のサンゴジュハムシが発生しているのはよく見かけましたが、植栽された樹木なので採集のためにあまり叩いたことはありませんでした。

写真１ タテスジアカヒメゾウムシ 3mm 程度

タテスジアカヒメゾウムシ（写真１）

１９８４年に農学部圃場にあるサンゴジュに沢山虫食いのあとがあったので、何気なく叩いてみたら、３㎜程度で赤っぽい上翅に２本の白い筋のあるゾウムシを採集しました。図鑑で調べるとその色合いと模様のとおりの名前でタテスジアカヒメゾウムシであることがわかりました。当時はこのゾウムシがサンゴジュから採集できることは知らなかったので、サンゴジュの近くにあるヒトツバタゴ（通称＝ナンジャモンジャ）を利用しているのではないかと思い、ヒトツバタゴからの採集を試みましたが採集できませんでした。何年か過ぎ（１９９１年）、平和公園にヒトツバタゴのような木があるのを思い出し、思い出したらいてもたってもおれず、小雨の中その木を目指して採集に出かけました。なんとその木からタテスジアカヒメゾウムシが採集できました。やはりヒトツバタゴを利用しているのだと確信しました。しかしその後、同好会誌にサンゴジュで採集した記録が掲載され、サンゴジュから時々採集できるので、やはりこのゾウムシはサンゴジュを利用していると納得しました。それでは、平和公園で採集したのは本当にヒトツバタゴだったのか。この原稿を書くにあたり、疑問に思い採集した場所に行って見ましたが、その場所にはヒトツバタゴもサンゴジュもありませんでした。しかし、現実には平和公園で採集したタテスジアカヒメゾウムシの標本は標本箱に並んでいます。最近の資料ではタテスジアカヒメゾウムシは、サンゴジュのほか、ニシキギ科のツリバナ・マユミ・マサキ・コマユミ、ツバキ科のサカキ、で採集できるとされています。平和公園で採集した場所には、ツバキ科のヒサカキは沢山あるのでヒサカキについていたのかもしれません。

サンゴジュヒメゾウムシ（写真２，３，４）

タテスジアカヒメゾウムシがサンゴジュから採集できることがわかり、その後サンゴジュ

も採集対象の樹となりました。２０００年に農学部研究棟の北側にあるサンゴジュでタテスジアカヒメゾウムシを探していたところ、上翅基部の第三間室に小さな白い１対の紋がある以外は真っ黒な４㎜程度のヒメゾウムシの仲間を採集んました。この頃はゾウムシに入れ込んでいたでかなりの標本も見ていました。これは新種ではないかとひそかに願い、中学生の私に昆虫採集の楽しさ、ゾウムシの面白さを教えてくれた先生を訪ね、お見せしてもわからないとのことでした。しばらくして（２００２年）日本ゾウムシ情報ネットワークが発足し、その採集会に標本を持参し日本のゾウムシの大家の方たちにお聞きしたところ、近年採集例があるが、まだ名前が付いていないとのことでした。現在もフタホシヒメゾウムシ属の一種でサンゴジュヒメゾウムシ（和名仮称）となっています。

写真２サンゴジュヒメゾウムシ
4mm 程度

２００１年以降は春からこのゾウムシ成虫はいつごろ現れるかを知るため注意深く観察していました。当時の採集日記を見ると以下のようになっています。

２００１年４月７日（土）晴
夕方、名大のサンゴジュを調べに行く。農学部北側のサンゴジュからヒメゾウムシを採集（約10頭）。農学部圃場のサンゴジュを観察するがヒメゾウ発見できず。ファイトトロンのサンゴジュは大胆に剪定され僅かに新芽が出ている程度だが、その新芽にヒメゾウムシが沢山ついている（約20頭）。理学部北側のサンゴジュに１頭発見採集せず。

写真３ サンゴジュの幹の中のサンゴジュヒメゾウムシ

２００３年３月31日
昼食後ファイトトロンのサンゴジュを観察し探すが見つからない。どこから出てくるのだろうか、幹に虫こぶのようなのがないか探すが見つからない。幹に折れかけた部分がある、折ってみると中からサンゴジュヒメゾウムシの成虫が出て来たではないか、ほんに可愛写真をとってあげよう。

２００３年４月５日
ファイトトロンのサンゴジュを見に行く。まだサンゴジュヒメゾウムシは出ていない。幹にもぐっているのは３月31日に確認したので、怪しそうな傷ついた幹を切って割ってみる入っていない。傷も何もない幹を割るとサンゴジュヒメゾウムシが出てきました。なんとなく直径５㎝程度の太い幹から出ている直径５㎜程度の幹の中に入っているようだ。結局10本ほど幹を割って５本から出てきた。

２００３年以降サンゴジュの観察記録をつけていないが採集記録を見ると、成虫が現れるのは２０００年は４月23日、２００１年は４月７日、２００２年は４月３日、２００３年は４月12日となっていた。２００９年は４月８日と15日にファイトトロンのサンゴジュを観察したがまだでてきていません。今年ももうすぐ幹の中から這い出してくるのでしょう。
皆さんもサンゴジュの新芽の中を覗いてみてください。

写真４ 標本のサンゴジュヒメゾウムシ

ニュースに一喝！

漢字

テレビのゲストが言っていた。経済の話も分からなければならないから、経済新聞を取って、勉強していると。でも、全く分からない、これ、日本語か？って思うと。それで漢字をとばして読むと全然分からないと。

これを聞いて、感心しもしたが、一方で、呆れもした。しかし、これはある種の真相を語っているなと思った。経済新聞は確かに一般紙に比べてかなり専門的な事が多い。これを読んでまともに理解すれば、相当な勉強になる。ところが、肝腎な内容は「漢字」で表されることが殆どである。だから、漢字をとばして読んだのでは、読んだことには成らない。

いつぞや、詩人の大岡信さんの講演を聴いたとき、漢語の話しをされた。日本の伝統的和歌は漢語を使わないが現代短歌は漢語を使って思想を表現すると。明治時代の先人達も西洋の諸概念を固有の日本語、いわゆる和語で表現することを諦めて、漢字を使い新たに造語したり、中国古典にある言葉を用いてまるで違う概念を表す用語を作ったりした。現在、こういう新しく作られたり、新しい意味を吹き込まれたりした漢字言葉を「新漢語」と言って重要な研究課題になっている。それらの新漢語が、明治時代の科学の進歩にどれだけ貢献したか計り知れない。こういう言葉有ってこその進歩だった。逆にこれがないところ、西洋の概念を自分の言葉として表せないところでは、進歩を阻害された。西洋の言葉をそのまま使ってしまっているところも多い。今の日本もだんだんそれに似てきている。

話を元に戻す。漢字は本来の日本語が持っていない概念性、抽象性、分析性を表すことに長けている。古代から、現代に至るまで日本語は、その両者を取り込んで豊かな表現力を得てきている。漢字をとばして読んで意味が分からないのは当然である。

昨今、漢字検定協会とかいう団体が漢字検定を行って、毎年莫大な儲けをしているという。公益団体ということで、税制面での優遇措置を得ながら、資金の流れが不透明だと指摘され問題になっている。そんな中で世は漢字ブーム、ゲームにまで成っているという。決して悪いことではないけれども、なぞなぞまがいの漢字は遊びとしてはそれでもいいが、余り推奨は出来ない。まして、これでお金儲けをするということには大いに違和感を覚える。漢字は漢字を使う人々の共有の財産であり、使わない人々にもその恩恵を分け与えたいものだと思う。

（田　２００９年２月10日記）

きちんと前を向いて

東京都心で工事中のクレーンが倒れ、国道20号線を通せんぼにして、６人の人が重軽傷を負った事件があった（２００９年４月14日）。

前にも書いたことがあるが、背の高いクレーンが町の真ん中で作業をしているのは見ていても危うい。どうしてもその傍を通らなければならないときは大急ぎで通るようにしている。

今度の事件では、通りかかったトラックの上にクレーンが落ちた。そのトラックに乗っていた３人は足の骨を折った

りしながらも、死は免れたのが何よりだったが、長時間車に閉じこめられ酷い目にあったものだ。意識不明の重体の方もいる。

10トンもあるケーシングという鉄の型枠を穴の中からつり上げ、別の所に移そうとしていて、バランスを崩して転倒したということだ。その後、その原因が色々報道された。釣り荷とクレーン車の距離が10メートル以内なら安全につり上げられるのに、それが遠すぎたという指摘がある。クレーンがその釣り荷と正対して居らず、横向きだったということも言われる。そんなに重い物を持つのに横向きでいいはずはない。感覚的にもそう思われる。ちゃんと真っ直ぐ向いて仕事をしていれば、今度の事件は起こらなかったのではないか。

何も、この事件に限らない。人と応対するのでも、横を向いて気もそぞろでは、相手も怒ってしまうだろう。やっぱり、きちんと相手と正対して目を見て対応しなければならない。何だってそうなのだろう。真剣さが足りなかった。

（田　２００９年４月18日記）

さびしいね

大学の広報誌を見ていて、思わずこんな溜息が出た。卒業式を特集したものだ。学長の式辞を初め、色々な方の祝辞が載っている。

卒業生への門出のお祝いを述べるのは当然である。それまでに至る卒業生の努力をたたえるのも当然だろう。そして、大学時代の交友関係を大事にしよう、大学時代の友達こそ生涯の友であるというのも誠に尤もなことである。こういう、はなむけの言葉に何も異議はない。しかし、全体を読んで何か言いようのない寂しさを感じた。この広報を読まれた方も多いと思うが、感想を聞きたいものだ。

学長の言葉の中には一言触れていたが、教師への思いというものが殆ど語られないのである。私は決して恩の押し売りをしようとは思わない。しかし、昨今喧しく言われる大学の建学の精神、特に我が大学のそれは「行学一体 報恩感謝」。このフレーズが繰り返し聞かされる。

教師の立場で、昔の卒業式のように「我が師の恩」などというつもりはない。この頃はあの歌も歌わないようである。

大学には色々な先生が居る。以前交流のあった方だが、卒業生などから手紙をもらうのは面倒くさくて嫌だと言っていた方があった。その方とは別れてもう何十年にもなるが、到頭何の音沙汰もなく、昨年なくなった。私もそう言われてまでしてはいけないと思い便りはしなかった。その方が転勤されるについて送別会を開いたが、それに対しても、お礼に類する言葉はその時も、後でもついぞ聞かれなかった。お礼を言って欲しいわけではないが、やはり、淋しいと思う。

私の出す手紙などに一切返事のない人もかなりの数に上る。鬱陶しいのだろうか。それならそうと言って欲しい。毎月雑文を書いては皆さんに配る。ただ、この頃のように物が多くなると紙一枚でもゴミを増やすことになる。それで、皆さんに、今まで通り配ってもいいかどうか、お伺いした。ほぼ3分の1の方からは、是非くれといわれ、あいかわらず配っているが、後の3分の2近くの人からはなしのつぶて。残念ながら今まで鬱陶しく思われていたとしか言えない。世は様々、人は様々だ。

私は、主義として、メールであろうと手紙であろうと、必ず返信する。学生にも、「私は諸君のメール等には必ず返信するから、もし、返事がなかったら通じていないと思って欲しい」と言っている。私は人としての務めと思ってそうしているが、そうではないのだろうか。世の人々を見ていると、私が間違っているように思えてくる。

（田　２００９年４月18日記）

知的生産の技術・発想法

『**知的生産の技術**』（梅棹忠夫著）が出たのは１９６９年でした。洗練されたネーミングからか、中身の革新性からか、この本は「バイブル」としてもてはやされ、２０００年には69刷を重ねています。タイトルからはハウトゥ本のように受け取られるかもしれませんが、読んでみると一貫した思想が感じられます。

『知的生産の技術』（梅棹忠夫著、1969、岩波新書）

たとえば、26のアルファベットで構成され、手軽なタイプライターで、素早くきれいな文が書ける英語と較べ、日本語はなんと不便な言語か…。著者の深いため息が聞こえてきます。印刷に適したきれいな日本語の版をつくろうとしたとき、パソコンもワープロもなく、活字を一個ずつ拾うか、日本語タイプライターしかない時代に、どうしたら効率的に日本語の版が作れるか著者は思索しています。この課題に立ち向かった先人の試行錯誤を概括した後、著者が到達したのは、カナタイプでした。50のカナで、日本語をすべて表記しようというのです。その場合表意文字としての日本語の利点もなくなることは承知のうえです。

カナタイプの提案は、ITの進歩によって今では空しいものになりましたが、思考の跡は消えません。

アイデアの発生にカードを使う方法もその一つです。調査によって得られた事実、その場の思いつきやひらめきなどなんでもB6サイズのカード（梅棹氏が所属していた京大にちなみ京大式カードという）に記入していきます。それらのカードを、いろいろと並べ替え、眺め、そこから浮かんでくる新たなひらめきを活用する方法を提案しています。

この方法の支持者は多く、一時期筆者（柴田）も、日記もメモも読書の感想もカードに記入していました。しかしカードから新たなアイデアを生み出すこともなく、今では嵩ばるカードの処分に困っています。私の場合はアイデアを必要とするような環境にいないのが理由かも知れません。

カードからアイデアを引き出すという梅棹氏の方法は、川喜田二郎氏もKJ法として提唱していました。川喜田氏の名前をとったKJ法を知らしめたのは１９６７年に出た『**発想法**』です。文化人類学を専攻する著者は、野外調査（フィールドワーク）における記録の方法や、たくさんの取材データから新たなひらめきを得る方法を提案しました。

取材データの一つひとつに、その中身を表す言葉に要約したタイトルをつけ、名刺大のカードに書きます。

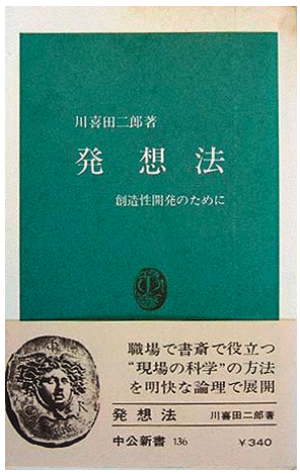
書かれたたくさんのカードを並べ、全体を眺めながら関連のあるカードを一緒にします。組み合わせは一通りだけでなくいろいろな種類があります。

関連のあるカードを眺めているうちに、「今まで気づかなかった幾つものまとまったヒントをわれわれに投げかけてくる」。まるで「〈データがわれわれに語りかけてくる〉と形容するのが自然なのである」と著者はいっています。

こういう体験の例として、一つの紙切れに一つの元素名を書き、いろいろと並べ換えているうちに周期律表を思いついたメンデレーエフをあげ、「KJ法の先駆者」だとしています。

川喜田氏は、『**続・発想法**』においてKJ法をさらに緻密・詳細

『続・発想法』（川喜田二郎著、1970、中公新書）



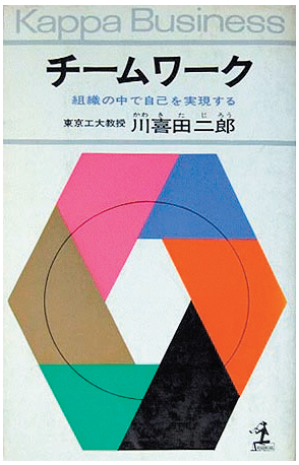
『発想法』（川喜田二郎著、1967、中公新書）

ある団塊世代の読書ノート (8)　柴田敏之

に論じました。

『**発想法**』が種々のデータからいかに新しいアイデアを生み出すかだったのにたいし、同じ著者による『**チームワーク**』は、種々の人間の能力・アイデアをどのように引き出し、大きな総合力に転化させるかを論じています。

中でも「仕事には12の段階がある」という主張は参考になります。それは「(日)問題提起―(月)情報集め―(火)整理・分類・保存―(水)要約化―(木)統合化―(金)副産物の処理―(土)情勢判断―(祭)決断―(祝)まとめの計画―(自)手順の計画―(至)実施―(代)結果を味わう」で、「自分(たち)の主体性と責任において」最初から最後までやりとおしてこそやり甲斐が得られるといっています。この考え方は、私にとって大学技術職員の働きがいを考えるヒントになりました。



『チームワーク』(川喜田二郎著、1966、光文社)

『**工学的発想のすすめ**』(杉田元宜著)は、理学分野の生物物理や生体のサイバネティックスを専門とする著者が、生物や人間の思考のメカニズムと情報工学(制御工学)の共通点に気づき、その応用を主張しています。専門知識に乏しい筆者にとって一度読んだくらいでは理解しがたいのですが、もっと読み込めば、「工学的発想は、科学の精神としっかりむすびつきさえすれば、自然界や人間界をみとおす斬新な視野をきりひらき、時代を敏感にとらえる社会科学への眼も磨く力をもっている」(本のカバーにある言葉)という魅力的な世界に眼を開かせてくれるような気がします。

知的生産のためにはさまざまな情報を効率よく活かす必要があります。そのために日頃から情報・資料の整理が不可欠です。

『**「超」整理法**』(野口悠紀雄著)は、たくさんの情報を中身の種類ごとに分類しそれぞれ保存するというこれまでの「整理」の概念を超え、保存すべき情報は時間軸で保存していくという整理法を提唱しました。

『工学的発想のすすめ』(杉田元宜著、1977、国民文庫)

まずA4サイズの書類がらくに入る封筒をたくさん用意します。同じ色、同じサイズの封筒がベストですが、捨てられる使用済み封筒でも構いません。

とっておけば将来何かの役に立つかも知れないという資料――新聞の切り抜き、冊子、チラシなどを1項目ずつ前述の封筒に入れます。封筒のおもて左側に中身を表す見出しと日付をタテ書きで記入します。これを収容スペースに立てて保存します。封筒は1日に5～6枚出来ることもあります。古いものから新しいものへ順に――古い資料が左に、新しい資料は右に並べて収容します。

保存しておいた資料が気になって参照したいときは、見出しを頼りに抜き出します。参照が終わったら一番新しい資料の保管場所、一番右へ戻します。

半年で2メートルのスペースがいっぱいになったとします。一番左にある封筒は、半年間一度も利用しなかった資料ということになります。収容スペースがなければ思い切って捨てます。半年間では捨てられないよ、という方はスペースを広げるしかありません。

『「超」整理法』(野口悠紀雄著、1993、中公新書)

1993年に出たこの本は、『**「超」整理法**』の名にふさわしく旧来の整理法を超えた方法を提唱していました。その後著者は、「超」のついた本を次々と世に出しました。それらの全部を読んだわけではありませんが、はたして「超」をつけるにふさわしい本が何冊あるでしょうか。

次回は「青年時代の読書」を予定しています。(しばた・としゆき＝エコトピア科学研究所技術補佐員)

かけはし3月号の感想

酒気帯び即懲戒免職!?

★「巡査も人の子」の記事に関係して、最近、公務員が酒気帯び運転が発覚すると問答無用で一律懲戒免職という省庁や地方自治体が増えているが、私はおかしいと思う。道路交通法では酒気帯び運転の罰則は50㎞／h以上のスピードオーバーとほぼ同じなのに、省庁や地方自治体の規則では酒気帯び運転のみ懲戒免職では、罰則が異常に重いと言わざるおえません。記事にもありましたが見せしめでしょうか。先日、事故ではなく酒気帯び運転で検挙され懲戒免職された人が、罰則が重すぎると職場を訴えたところ、裁判所は「免職は罰則が重すぎる、停職3ヶ月が妥当である」という判決が出ました。【JJJ】

スピーチすばらしかった

★「ひとりごと」の「あっぱれ村上春樹」に同感です。授賞式のスピーチは素晴らしかったです。【Bee】

広木先生継続を

★今月の広木先生の新フィールドノートは108＋1とのことでしたが、次回はあるのでしょうか？気になります。採点でお忙しいかとは思いますが継続を希望します。【玉木一郎】

▼広木先生は定年までに人の煩悩の数108まで書こうと決めておられたようで、その108回が中途半端に終わっていたこともあり＋1となりました。その後、期待する読者がいますのでと依頼しましたところ、愛知大学からも引き続き書いていただくことを快く引き受けていただきましたのでこれからもご期待ください。【かけはし編集部】

戦争を考えられる

★工廠跡地見学ツアーというものが開催されていることさえ知りませんでしたが、豊川にもそれほど空襲がきていたとは思いもしませんでした。今回の報告だけでは、戦争の悲惨さというものは想像しきれません。それでもこのような形で少しでも伝えてもらえると、戦争のことを考える時間ができていいと思いました。【TK】

ますは10マスで

★クイズのますは10マスでお願いしたい【らくだのももひき】

早速買って勉強します

★「文章の書き方」の記事を興味深く読みました。作文の機会がほとんど無い今の生活に危機感を覚えました。何冊か買って勉強します…。【ラクチドくんJr.】

ためになる本を読みたい

★「ある団塊世代の読書ノート」を見ました。こういう「ためになる本」も読んでおきたいです。【みなてぃ】

研究室対抗駅伝企画して！

★走るのは割と好きですが、機会が無くて残念です。研究室対抗駅伝的なもの誰か企画してください（：他力本願ではありますけど。）【にゃんぴち】

最近お酒に興味が出てきた

★初めて読みましたが、興味深いないようでした。「陶器と酒の街をゆく」が良かったです。最近、お酒に興味がでてきたこともあり、楽しく読むことが出来ました。【ひよこ】

信頼得られる発言を

★外交問題は時の国家の治安、経済、信頼を大きく動かす物だと思います。もっと日本の政治家は海外からの信頼をまず得られるような発言や行動をしてほしいと思います。【BOB】

意見と通信

冷茶がダメなら冷水でも

★ダイニングフォレストに行ったところ、経営が圧迫されているので『冷茶』の供給をやめにするとのお知らせがありました。これから、どんどん暑くなっていくので、冷茶はダメでも冷水は供給して欲しいです。【JJJ】

理系がキレイになったね

★先日理系食堂に建て替え後初めて訪れました。キレイになっていてびっくりしました。【玉木一郎】

使わせてくれてありがとう

★いつも弁当だけど、いやな顔一つせずに食堂を使わせてくれてありがとう。【TK】

クイズは創る方が難しい

★クイズが簡単だというコメントに応えようと思い、問題を創作しようと試みたのですが、作る方が難しいですね。出題者様、

しの輪

毎回お疲れ様です。力添えできなくて申し訳ございません。【ラクチドくんJr.】

アンケートはいかが

★何かアンケート的な企画はどうでしょうか？【にゃんぴち】

名大の歴史の特集は

★名大の歴史を特集してみてはどうでしょうか？名大生ですが、あまり詳しくは知らないので…【ひよこ】

タイムリーな情報を

★生協の企画や、期間限定のプロジェクトなどタイムリーな情報を多く取り扱ってほしいです。【BOB】

Dフォレストでもカツ丼を

★南部のカツどんを理カフェでも食べられるようにして欲しい。【みなてぃ】

▼南部食堂で食中毒を出してしまいました。原因はカツ丼で使用していた卵によるものと考えられています。サルモネラ菌を死滅させるには加熱するしかなく、保健所と相談しながら大丈夫といえる調理が出来るまで生卵を使用するカツ丼やオムライス等の提供は見合わせることにしました。南部食堂店舗には以下の掲示をしています。【箕浦常務理事】

学生・教職員の皆様へ

食中毒発生のお詫びと南部食堂の営業禁止について

去る16日（木）に南部食堂でカツ丼を食べた学生が下痢、嘔吐、発熱などの症状により入院し、サルモネラ菌が検出された旨の連絡が入院先の医師より大学にはいりました。

千種保健所の立ち入り検査の結果、23日付で南部食堂の営業禁止の処分が千種保健所よりおりました。

このことにつきまして、被害に遭われた皆様に対して、心よりお詫びいたします。また、営業禁止に伴い、ご不便をおかけすることについて大変申し訳なく存じます。

当生協と致しましては、千種保健所からの指導に従い、又、大学からの注意喚起を真摯に受け止め、南部食堂の徹底清掃、消毒、従業員の安全講習、安全な調理方法を徹底し、再発防止に努めます。

営業再開まで大変ご迷惑をおかけ致しますが、当面、生協購買店舗でのお弁当、パン、おにぎり、サンドイッチ等のご利用、もしくは他の食堂のご利用をお願い致します。

重ねまして、皆様にお詫びするとともに、こうしたことが二度と起こらないように致しますので何とぞよろしくお願い致します。あわせて、同様の症状が出たなど、心当たりのある方は当生協、もしくは大学までお申し出下さるようお願い致します。

教職員委員会活動日誌（2009 年 4 月）

月　日	事　項	場　所
4月 6日（月）	４月度常任理事会	ゆ～どん
8日（水）	第１回役員報酬検討委員会	ゆ～どん
10日（金）	総代会プロジェクト（中止）	
16日（木）	ピースムービー「アニメ・火垂るの墓」	組合書記局会議室
16日（木）	東海地域センター地域部会	東海会館
17日（金）	第２回役員報酬検討委員会	ゆ～どん
17日（金）	平和憲章委員会	組合書記局
18日（土）	茶臼山ハイキングの下見	段戸山・茶臼山
20日（月）	４月度理事会	フレンドリィ南部
23日（木）	第２回生協総代・組合員懇談会	グリーンサロン東山
25日（土）	地域センター理事会	東海会館
27日（月）	４月度教職員委員会	グリーンサロン東山
29日（水）	茶臼山ハイキングとバーベキュー	茶臼山・設楽フィールド
30日（木）	総代会プロジェクト	ゆ～どん

ランニングノート (7)

国体選考・強化普及競技
～ 連 戦・トップを狙え！～

4 月 11 日、12 日
会場：瑞穂陸上競技場

全学技術センター　伊藤　耕

今シーズン緒戦のトラックレースに参加してきました。そして今回は土日連戦に耐えられるかどうかと、タイムもさることながら組の中でトップになりたいという 2 点を課題としてレースに臨みました。また、今回のレースはスタート時間が 16:30 前後と遅かったため、午前中は家でのんびりしたり、職場に灌水に行ったりして 14:30 頃に競技場についてスタート時間を待ちました。

1 日目：5000m8 組 2 レーン
(17 分 33 秒 74/8 組 3 位)

初日のレースですが、上述の通り今回は組の中でトップを狙いたいと思っていたので、できれば前から 4、5 番目程度にはつけたいと思い、初めの 1 週は 75 秒と結構無理をして入りました。しかしながら 2 週目の 2 コーナー辺りで先頭の集団 (この時点で 4 人) についていくのは苦しいと判断してその後ろの集団でレースを進めることに作戦を変更し、以降 4 人の先頭集団から落ちてきた選手を拾いながらレースを進めました。ラップタイムとしては、はじめの 3 週を 75 秒→ 79 秒→ 82 秒で通過した後は残り 1 週まで概ね 86 秒で通過。結局その後先頭集団から落ちてきた 3 人を拾い、3 週目以降後ろについていた 4 人 ?(影でしか人数を確認していないので定かではない) と組 2 位を争っていたようですが、終盤で 4 人のうちの 1 人には競り負けてしまい、最終的には段落表題のような結果に終わりました。

2 日目：1500m17 組 1 レーン
(4 分 47 秒 66 17 組 3 位)

2 日目の 1500m も組の中でトップを狙え !! ということでできるだけ速いうちに 2~3 番手につけたいと思っていましたが、う～ん･･･スタートダッシュで出遅れる・・・というか加速装置の性能が悪いせいかどうしても 3 コーナーでは中段、ようやく 1 周目 250m あたりで 2~3 番手につけるという展開になってしまいます。とはいえ、1500m のレースも前につけることだけを考えてスタートしたので、初めの 300m を 49 秒で通過しました。その後 700m までは 3~5 番手でレースを進め残り 2 周手前で前がペースダウンし始めたので、「あれ？　これはもしかしていけちゃうんじゃないの ?」と思って、そのまま後 2 周押し切るつもりで先頭に出てみました。ところがこれが大きな勘違い・・・さらに後ろにつけていた 13 レーンの選手に抜かれ、3 周目の途中から 4 週目の 2 コーナーあたりまで前も後ろも離れた 2 番手を走っていました。今にして思えば、この間中だるみして 1 周 83 秒ほどかかったように思います。とはいえ前半 700m を 2 分 3 秒で通過した貯金のおかげで何とか 4 分 50 秒を切って自己ベストでゴールすることができました。

まとめと今後の展望

今回の結果はタイム的には 5000m は自己ベストを 50 秒近く、1500m も 10 秒更新できたので満足しています。しかし、運動会のかけっことしてみると、5000m、1500m ともに少なくとも最後に競り負けた高校生には勝ちたかった・・・。そして今回の 2 レースで今年度の目標として定めた記録を達成してしまい、今後さらに上の記録を狙うのは当然のこととして、新しい遊びとして 3000m 障害を試してみたくなってしまいました。とはいえ障害の高さよりあのゴツさがなあ････。正面衝突したら絶対負けるのわかってるし、水豪もあっておぼれないか不安・・・・。ああ !!　でも 1 回くらいやってみたい。

名大生協

学内便

「かけはし」編集委員会行

山　　折　　り

○氏　名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　組合員証番号＿＿＿＿＿＿＿＿

○所　属＿＿＿＿＿＿研究科／学部／ｾﾝﾀｰ＿＿＿＿＿＿　専攻・課／学科・掛（教職員・院生）

○連絡先＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿内線＿＿＿＿＿＿＿＿

○誌上匿名希望の方はペンネーム＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

山　　折　　り

アンケートに
ご協力願います。

第　284　号

クイズのこたえ＿＿＿＿＿＿＿＿

☆今月号を読んでの感想

☆記事にしてほしいこと。生協へのご意見やみなさんからの通信をぜひ。

COOP クイズへの応募、アンケートの回答は、http://kyoshoku.coop.nagoya-u.ac.jp/kakehashi/answer.html　から送信できます。また、e-mail: kyoshoku-c@coop.nagoya-u.ac.jp でも受け付けます。必要事項をもれなく記入してください。

4月度理事会報告

4月20日18時からフレンドリィ南部食堂ホールにて4月度理事会が開催された。

【協議決定事項】

1。新南部食堂への負担について

南部食堂の改築費用として9億8千万円かかり、厨房部分で1億4千万円かかるのでその分生協でもっとほしいとの大学から要請があった。生協としては厨房備品の費用で1億円弱を見込んでおり、それに加えて建物費用として要求されても到底出すことが出来ない。食堂としての建物を建てるので厨房としての内装工事は当然大学の負担と考える。厨房備品は生協負担としてもエアコン、ダクト、防火シャッター等は食堂として最低必要な設備であり、消防法、食品衛生に関する諸法令、条例をクリアするためのものは設置者の責任で用意するものと考える。この考えのもと生協として負担できる最高額を決め、理事長及び専務に大学との折衝に当たっていただくことを決定した。

2。旧中央食堂への投資について

南部食堂が6月中頃から改築工事にはいるので南部地区の組合員の方々に昼食を提供出来なくなる期間、弁当の製造工場として旧中央食堂の利用をお願いしていた。大学の入札に対し、生協以外の事業者応募がなく生協に営業が任されることとなりました。厨房備品はなるべく南部食堂の物を利用するとしても厨房の新規備品購入および厨房内エアコンの設置等は必要であり、投資額の上限を1千万円とすることを決定した。

【協議事項】

1。総代会成功に向けての準備

理事は1名がまだ未定であるが29名、監事は5名の候補者名が報告された。総代の登録方法と招請状の送付スケジュール、議案書については組織委員会の方針以外は概ね整い、08年剰余金処分案と決算、予算について提案された。来賓として2名の大学理事にお願いしたところ、出張と会議日程が入っており断られたと報告された。テーマブースは南部食堂と70周年学章商品開発のじっくり部分と各種活動を見る部分を各20分用意する。クラス写真投票の方法、全体発言の準備、理事会の時間を利用した生協の歴史スライドなどの準備状況が報告された。

2。中央食堂の改装にかかわって

南部食堂改築工事との関係もあるが、大学の整備工事が6月12日で終了し、生協での追加工事後、南部からの厨房備品搬入を20日21日に行い、営業の開始は6月22日とする。また、名称としては柴山専務の提案である「Dining 7（セブン）」に理事会として決定した。

【報告事項】

1。組織委員会の活動報告

学生委員会

新入生歓迎活動として「大学生活スタートセミナー」「困ったらオレに聞け企画」「名大フレンドパーク2」などの取り組みが報告された。

教職員委員会

4月29日茶臼山ハイキングのための下見報告。かけはしの発行計画、名大祭に向けた平和の取り組み、総代選出、総代組合員懇談会、茶臼山ハイキングとバーベキュー企画、夏の組合員交流企画、東海地域センター教職員セミナー等の準備状況が報告された。

生活班など

WiLLは4月12日ウェルカムパーティーを開催し47名が参加した。13日より通常活動を開始していることが報告された。

2。3月供給結果に関して

3月は供給予算を1482万円上回った。情報機器、海外旅行、国内旅行、食堂、印刷情報部門で予算を上回った。事業総剰余は予算を472万円上回わり好調なスタートとなった。

3。新学期活動の報告

生協加入、共済、学生賠償責任保険、扶養者死亡保険、学生生活110番の加入はそれぞれ昨年より下回った。住まいの斡旋、パソコン、セットアップ講座、特別活用講座、教科書、教材、電子辞書が昨年よりも伸び、入学式では名大クッキー、地ビール、地酒等完売した。

4。英語プレイスメントテストの報告

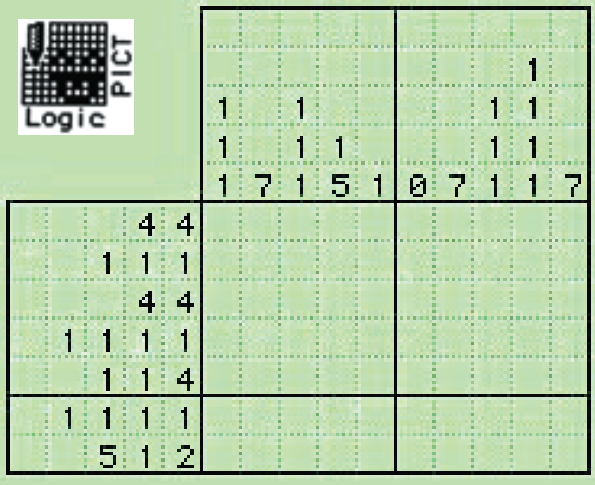
名古屋大学の英語教育の改善の手伝いとして、4月3日TOEFL-ITP試験（2196名が受験）、4月11日Criterion試験(2218名が受験)を実施した。受験票を持ってこない学生や開始間際に飛び込んでくる学生が思ったよりも多く見られた。1月にも成績判定のための試験を実施する。

など報告し20時に閉会した。

CO-OP QUIZ

No．284
2009月5・6月号

縦と横に書かれた数字にしたがってマスをうめていくと絵（または文字）が現れます。それは何でしょう。
（ヒント＝○○蠅い）



****

クイズが解けたらぜひ応募してください。クイズの嫌いな方は、ご意見だけでも歓迎します。

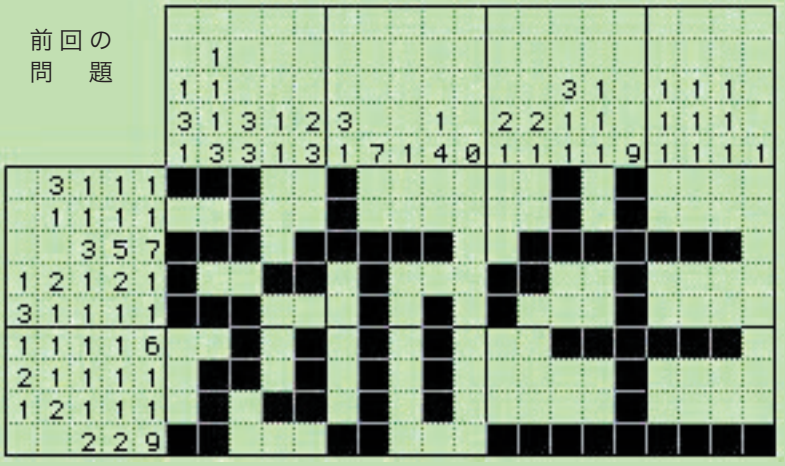
****

前回の正解は「弥生」でした。解き方がまだわからない方は、解答の絵の数字と黒マスの関係をよく見てください。

****

あなたもLogicの問題を創作（出題）してみませんか。問題の投稿も歓迎します。手描きでもOK。
採用の方には図書カードを進呈。

前回の問題



第282号の当選者

・応募総数　……10人
・正解者数　……10人
・当選者（敬称略）

伊那　直子（理学研究科）
湊　祐輔（理学研究科）
安井　幸夫（理学研究科）
加藤　大明（生命農学研究科）
安井　幹夫（生命農学研究科）

以上の5人の方に図書カードをお送りします。

応募要項

○締め切りは6月17日
○発表は本誌、7・8月号
○正解者（但し、①組合員＝当選後ご加入も可、②意見・感想記入者）の中から、抽選で5人の方に図書カードをさしあげます。
○生協への意見・要望をどしどしお寄せ下さい。